



<令和3年度 中中だより>

磨心・踏心

令和3年 4月23日

加美町立中新田中学校

TEL 0229-63-2278

FAX 0229-63-2279

文責 教頭 築田 智志

【教育目標】

○自ら学び取る力の育成(自立)

○豊かな連帯感の育成(共生)

○たくましい心身の育成(挑戦)

全校生徒307名で令和3年度スタート!!!

4月8日(木)の午前に始業式、午後からは入学式を実施し、中新田中学校の令和3年度がスタートしました。新クラス発表の掲示物を確認する生徒からは驚きと喜びの声が聞こえてきました。始業式や入学式では、校長から次のような内容の式辞が伝えられました。

(前略)八十九人の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たちは皆さんの入学を心より歓迎いたします。今、壇上から見ていると、皆さんは輝いています。前向きな気持ちも伝わってきます。今の気持ちを忘れることなく、進んでいくよう期待しています。

皆さんは、水泳の池江璃花子選手を知っていますか。知っている人は多いでしょう。先日、日本選手権水泳競技大会で1位となり、東京オリンピック出場を決めた水泳選手です。

池江選手は白血病という重い病気にかかり、約十か月間入院生活を送り、一度はオリンピックを断念しました。体重は十五キロ落ち、がん治療で髪が抜け落ち、他の病気にも同時にかかり、しばらくは治すことに専念していました。連日、四十度の発熱と吐き気。誕生日もベッドの中。卒業式にも参加できませんでした。こんな苦しい思いをするなら、死んだ方がいいとさえ思ったと語っています。その後、選手としての再起をかけて徐々に練習時間を取り戻していきました。昨年八月の復活レースでは、筋肉が抜け落ちた細い体、前とはだいぶ違う自分の姿を見せるのが、とても恥ずかしかったと言っています。

私はNHKのドキュメンタリー番組『振り向かず前へ 池江璃花子 19歳』というのを観てから応援するようになりました。池江選手は、「病気になったからこそ分かったこと、考えさせられたこと、学んだことが本当にたくさんありました。ネガティブ思考になる時もありましたが、まずは自分の気持ちをしっかり持たないといけないと思い、治療、練習に励みました」と語っています。

あの番組を見ての感じ方、捉え方は人それぞれでしょう。私が感じたのは、目指すものに向かって前に進んでいく、そのプロセスが面白い。夢や希望に向かって進んでいくこと自体が幸せであり、喜びであるということ。大切なのは、目標を達成することよりも、幸せに生きること。目標に近づいていくこと自体が幸せなのだということなのです。

そして、先日の日本選手権水泳競技大会で見事に復活です。「自分が勝てるのはずっと先のことだと思っていた。つらくてしんどくても、努力は必ず報われるんだなと思った」という言葉を新聞では取り上げています。しかし、私が注目したのはそこではありません。努力が報われるとか報われないとかではないのです。私が感激し嬉しかったのは、大会の会場で「ただいま」と叫んだこと。「何番になっても何位になっても、今ここにいることに幸せを感じよう」と池江選手が心の中で思っていたことなのです。そして、「前の自分を超えます」と宣言したことなのです。

新入生の皆さん!皆さんも、今、前を見つめ進んでいこうと決意しているはずですが、その気持ちを忘れることなく、途中、何か困難があったとしても前を見つめ進んでください。難しいこと、苦しいことに出会ったら、自分を鍛えるチャンス、一段と成長するチャンス、幸福になるためのステップだと前向きに捉えてください。

校庭の桜が満開となり、希望の花咲く春がこの中新田中学校にもやってきました。

春が来た。花が咲いて、春が来たといいますが、一つや二つの花がきれいに咲いただけで「春が来た」とは言いません。多くの花がきれいに咲いて「春が来た」というのだそうです。一人や二人が輝いても、中新田中学校に春が来たとは言いません。新入生89人一人一人が本来の自分の良さを伸ばし、楽しい学校生活を送り輝いていける、そんな魅力ある学校にしていきたいと思います。(後略)



新入生を代表して小野寺晟大さんが誓いの言葉を述べましたので紹介いたします。

(前略) 中学校では小学校と違い勉強する科目が増え、教科ごとに担任の先生が変わり、今までと違う環境にとまどってしまうこともあるでしょう。

自分一人では乗り越えられない困難も、自分一人では得られない喜びも、その一つ一つをここにいる仲間と共に味わい、先生方をはじめたくさんの先輩方に教えていただき、学んでいきたいと思えます。

これから三年間、どんな時でも自分自身を見失わないように、校訓である「自立」、「共生」、「挑戦」を胸に、中新田中学校の生徒として恥じない立派な中学生になるために精一杯頑張ることを誓います。

【令和3年度職員紹介】

No	学年組担任 (校務分掌)	氏 名	担当教科	部活動等	No	学年組担任 (校務分掌)	氏 名	担当教科	部活動等
1	校 長	早 坂 正 紀			21	3 学年主任 (連絡指導主事)	内 海 雅 浩	英 語	剣 道
2	教 頭	築 田 智 志	理 科		22	3 年 1 組 (道徳教育推進教師・学校図書司書教諭)	安 達 歩 未	国 語	卓 球
3	主幹教諭 (防災主任)	岡 寿	理 科	卓 球	23	3 年 2 組 (いじめ担当主任)	佐 藤 辰 徳	理 科	ソフトボール
4	教務主任	伊 藤 良	数 学	カヌー	24	3 年 3 組 (学校体育)	佐々木 夏 海	保健体育	カヌー
5	1 学年主任 (総合的な学習の時間担当)	目々澤 ゆかり	美 術	美 術	25	若 鮎 1 組 (特別支援教育コーディネーター)	庄 子 勲	社 会	サッカー
6	1 年 1 組 (不登校担当主任)	吉 田 海	国 語	バレーボール	26	3 年 副担任 (特別活動主任)	高 橋 里 穂	英 語	バスケットボール
7	1 年 2 組 (情報教育推進教師)	石 川 裕 貴	数 学	ソフトテニス	27	学 習 支 援 員	早 坂 範 子		
8	1 年 3 組 (1 学年副主任)	結 城 真 紀 子	英 語	ソフトテニス	28	教 諭 (大 学 院 派 遣)	浅 水 智 也	技 術	
9	1 年 副担任 (研究主任・町学力向上推進リーダー)	千 葉 拓 郎	社 会	サッカー	29	教 諭 (育 児 休 暇)	菊 地 由 貴	音 楽	
10	1 年 副担任	兵 藤 由 美 子	音 楽	吹奏楽	30	養 護 教 諭	田 中 美 保		
11	講 師 (魅力ある学校づくり担当)	鈴 木 文 也	保 健 体 育		31	栄 養 教 諭	伊 藤 悠 紀		
12	非 常 勤 講 師 (免許外担当)	佐 野 正 則	技 術		32	主 幹 兼 事 務 長	一 條 峻		
13	2 学年主任 (初任研修指導教員)	八 畝 辰 一 郎	理 科	バスケットボール	33	主 事	首 藤 有 紀		
14	2 年 1 組 (2 学年副主任・保健主事)	横 田 育	数 学	総合活動	34	主 任 業 務 員	早 坂 敏 夫		
15	2 年 2 組 (生徒会担当)	佐 藤 史 崇	保 健 体 育	バレーボール	35	事 務 補 助	幸 福 加 奈 子		
16	2 年 3 組 (学校給食主任)	田 邊 真 由	家 庭	吹奏楽	36	A L T (外国語指導)	Paul Myers		
17	若 鮎 2 組	関 口 泰 治	国 語	剣 道	37	教 員 補 助 員	大 友 美 香		
18	2 年 副担任 (生徒指導主事)	堀 籠 崇 志	英 語	野 球	38	教 員 補 助 員	洪 谷 弥 生		
19	非 常 勤 講 師 (日本語指導)	島 田 郁			39	教 員 補 助 員	長 田 ひ と み		
20	初 任 研 代 替 (初任者研修代替)	佐々木 裕 子	理 科		40	S C (スクールカウンセリング)	萱 場 る み		
					41	S S W (スクールソーシャルワーク)	山 口 久 美 子		

【中中だより「磨心・踏心」について】

中中だよりには「磨心(ましん)・踏心(とうしん)」とタイトルを付けています。本校の生徒が、素直な心や感謝の気持ちを大切に心を磨き、やるべき時は勇気を持って踏み出し、思う存分に自己の力を発揮してほしいと願い、このタイトルにしました。生徒たちが、学習のみならず、部活動や委員会活動、学校行事など様々な活動場面で心を磨き、踏み出す勇気を持って取り組める環境づくりをするためにも、保護者の皆様と教職員が一緒に知恵を出し合って教育活動に取り組んで参りたいと思っておりますので、御協力と御支援をお願いいたします。